

海外安全対策情報

1 治安情勢

- (1) グアナファト州の2018年度第1四半期(2018年4月～6月)の犯罪発生認知総数は33,881件と、前年比(2018年1月～3月)5.9%増となっている。また、殺人事件発生認知件数については552件と17.9%増加、グアナファト州における今年1月から6月までの殺人事件における被害者数はメキシコ国内でもトップであると報道されている。
- (2) なお、これら殺人事件の約90%が、銃器等の武器を利用したものであるところ、現地治安当局者等からは、その90%以上が麻薬やガソリン窃盗組織との抗争によるものと報告を受けているため、不特定な人物を狙っての犯行でないと認識している。しかしながら、治安当局とそれら犯罪組織との銃撃戦が市内で発生する等、銃撃戦の流れ弾による一般人の死傷事案も発生していることから、引き続き在留邦人に対して注意喚起を行っている。
- (3) また、殺人事件と同様に、麻薬に関連する認知件数も増加傾向にある。本年6月の時点では、2017年内の6,567件に対して4,513件と、既に前年の認知件数の68.7%に達しており、殺人事件件数と比例して増加傾向にあることから、グアナファト州における殺人事件の背景には、麻薬に関する事件が紐付いていることが理解できる。

2 管轄地域内における一般犯罪の傾向(2018年4月～6月) ※前期2018年1月～3月

(1) グアナファト州	総数	33,881件(前期比 5.9%増)
ア 殺人		651件(前期比17.9%増)
イ 傷害		3,696件(前期比19.2%増)
ウ 窃盗		7,134件(前期比 3.9%減)
エ 強盗		2,878件(前期比 6.6%減)
オ 誘拐		2件(前期 0件)
(2) アグアスカリエンテス州	総数	10,074件(前期比 9.8%増)
ア 殺人		20件(前期比 4.8%減)
イ 傷害		1,361件(前期比14.4%増)
ウ 窃盗		3,872件(前期比 3.8%増)
エ 強盗		346件(前期比25.4%増)
オ 誘拐		2件(前期 0件)
(3) ハリスコ州	総数	30,611件(前期比 1.9%増)
ア 殺人		466件(前期比12.0%増)
イ 傷害		3,206件(前期比 5.5%増)
ウ 窃盗		6,522件(前期比19.2%減)
エ 強盗		4,001件(前期比 1.6%減)
オ 誘拐		3件(前期比50.0%増)
(4) ケレタロ州	総数	14,807件(前期比 9.0%増)
ア 殺人		38件(前期比 7.3%減)
イ 傷害		1,607件(前期比23.9%増)

ウ	窃盗	6, 3 4 4 件 (前期比 4. 7 %減)
エ	強盗	7 0 6 件 (前期比 7. 8 %減)
オ	誘拐	0 件 (前期 3 件)
(5)	<u>サンルイスポトシ州</u>	<u>総数 9, 5 8 2 件 (前期比 1 7. 9 %増)</u>
ア	殺人	1 3 5 件 (前期比 2 2. 7 %増)
イ	傷害	9 6 0 件 (前期比 2 8. 2 %増)
ウ	窃盗	2, 4 6 7 件 (前期比 3. 4 %増)
エ	強盗	7 5 0 件 (前期比 2. 1 %減)
オ	誘拐	5 件 (前期比 6 6. 7 %増)
(6)	<u>サカテカス州</u>	<u>総数 5, 3 3 7 件 (前期比 5. 2 %増)</u>
ア	殺人	1 2 2 件 (前期比 1. 7 %増)
イ	傷害	4 8 1 件 (前期比 1 2. 1 %増)
ウ	窃盗	1, 4 6 6 件 (前期比 7. 0 %減)
エ	強盗	5 1 3 件 (前期比 0. 6 %増)
オ	誘拐	2 件 (前期比 2 0. 0 %減)

3 安全に関わる諸問題及び対応策

- (1) グアナファト州内では、麻薬に係る犯罪組織の抗争が激化しており、これら組織が関与した発砲事件や殺人事件、警察官を直接狙った襲撃事件も発生している。それら事件に巻き込まれないためにも、夜間の外出やバー、ディスコ等の出入りについて極力避けると共に、夜間を問わず一般市民が利用する公共の場所でも、この様な事件に遭遇する可能性は十分に考えられることから、普段から周囲の変化に敏感になれるよう注意が必要である。
- (2) また、凶器を利用した強盗も増加している。この様な事件に巻き込まれないためにも、発出される領事メール等を参考に、行動の制限（犯罪が多発する時間帯の外出制限、事件多発地域への通行を避ける等）を行うことで、被害に遭うリスクを下げる必要がある。
- (3) 前期に引き続き、コンビニエンスストアやマーケット等の駐車場における車上荒らしが、引き続き発生しており、車両を離れる際の貴重品の放置に注意が必要である。
- (4) 銀行で現金を引き出した後に、つけられ強奪される事件も昨年同様に頻繁に発生している。銀行にて現金を引き出す際は、顧客の利用率の高い場所や時間帯、警察官や警備員が常駐している場所を選ぶ等、出来る限り狙われるリスクを下げるよう心掛ける必要がある。
- (5) グアナファト州では、日本人も住んでいる居住区内（ポルトン・カナダ、クンブレス・デル・カンペストレ、ハルディネス・デル・カンペストレ、ソベルナ）における空き巣集団による犯罪が発生している。これら犯罪集団は居住者専用出入口ゲートのタグを窃盗して利用する等、住民を装って侵入しているため、例えセキュリティーの厳しい居住区であっても、油断は禁物であると考えられることから、住居についても可能な限りの防犯対策を構築しておく必要がある。

以上